

1. 会合名	証券受渡・決済制度改革懇談会（第 31 回）（書面）
2. 日 時	平成 26 年 7 月 15 日（火）
3. 議 案	（審議事項） 国債取引の決済期間の短縮（T＋1）化に向けたグランドデザイン（暫定版）について
4. 主な内容	（審議事項） 本懇談会の下部機関である「国債の決済期間の短縮化に関する検討ワーキング・グループ」（以下「WG」という。）では、平成 29 年以降速やかな国債のアウトライト取引の T＋1 化（GCレポ取引 T＋0 化）の実現に向け、「国債の決済期間の短縮化に向けて（コンサルティング報告書）」で示された課題、対応方針及びWGにおける最新の検討結果を踏まえ、本年 9 月末を目途にアウトライト T＋1 化の実現に向けた課題の整理及び解決策等をグランドデザインとして取りまとめることとしている。 一方、現時点で一定程度対応方針が整理できたことから、WGでは、市場関係者間における T＋1 化対応のコンセンサスの醸成・対応準備を図るため、グランドデザインの暫定版を作成・提示し、市場参加者から意見等を求めることとしたところである。 以上を踏まえ、WGにおいて「国債取引の決済期間の短縮（T＋1）化に向けたグランドデザイン（暫定版）」が取りまとめられたことから、同グランドデザイン（暫定版）の公表等について本懇談会において審議を行った結果、原案どおり了承された。 以 上